



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹



いよいよ本番です！ 第116回運動会

職員室前廊下に開校当時の運動会の写真があります。歴史の重みを感じます。

これまで長きに渡り、続いているこの行事は、子供たちの成長に大きく影響を及ぼしてきたものと考えます。

子供たちは、暑さにも負けず、頑張ってきました。特に、初めての運動会を経験する1年生にとっては、期待がある反面、不安もあったかと思います。一方、6年生にとっては、小学校生活最後の運動会です。自分たちの演技はもちろんですが、春日小の運動会のリーダーとして、これまで盛り上げてくれました。きっと本番でも、力を発揮してくれるものと思っています。

どうぞ、日曜日は子供たちのこれまでの頑張りを想像しながら、温かい声援・大きな拍手を送ってくだされば幸いです。よろしく願いいたします。

当日は、かなり暑いことが予想されます。子供たちの暑さ対策では、本年度からテントを使います。水分補給にも気を付けたいと思っています。どうぞ、保護者、地域の皆様方も暑さ対策をよろしく願いいたします。



委員会ごとに仕事が振り分けられています

放送で全体進行をする子供、用具係として、用具を準備する子供等、運動会に向けて委員会ごとに責任を持ってやり遂げています。次の競技名を放送する直前の子供の様子は、その表情から緊張感が伝わります。

自分で考えて、その場に応じた仕事をやり遂げていく5・6年生の姿は、頼もしい限りです。「まかせる」ことの大切さを感じます。失敗してもよいから、「まかせる」、任せられたことを子供は意気に感じ、責任感が生まれ、やる気が生じます。

まさに、「みとめて、ほめて、はげます」にかかわりです。運動会の練習の様子から、そのことを感じています。

<寸詞> 運動会の週、校門での朝の様子

3年女子「朝から、疲れています」※運動会の練習疲れかな？

1年男子「新しい靴を買ってもらった！」※とても嬉しそうに、見せてくれました。

2年男子「今日は、晴れ100%です」※難しい言葉知っています。TVの影響かな？

※子供たちから、たくさん元気をもらっています。